

みはらのたから

三原で輝く若者たち

機敏に車いすを操作しながらドリブルをし、相手チームとぶつかり合いディフェンスを繰り返す激しいスポーツ「車いすバスケットボール」。森岡君はソフトボール・テニス・水泳などを体験した中で「ぶつかり合う激しさやシュートを決めた瞬間の達成感が自分に一番合っている」と感じ、中学から本格的に始めました。

令和7年度の次世代強化選手にも選ばれ、6月にブラジルで開かれる大会に参加予定。「車いすの操作技術やプレッシャーに負けない精神力を鍛えて、パラリンピックに出場できる選手になりたい」と目標を話します。

体の一部と同じ
“バスケット”



森岡君の体の特性やプレースタイルに合わせて調整されている。

日本車いすバスケット連盟 男子
U23世界選手権 日本代表選手

三原市立第五中学校3年
広島Rise所属

森岡 煌陽君

小学生の時は三原の車いすバスケットチーム「浮城スポーツクラブ」でプレー。現在は「広島Rise」で練習に励んでいる。



幅広い世代のチームメイトに囲まれ
世界に羽ばたく選手をめざす!



「広島Rise」は小学生から60代までの選手が在籍し、思いやりにあふれた優しいチーム。

